福岡県退職公務員連盟
会報 34号

自助　共助　公助

思いやりの心　助け合いの心
いたわりの心　支え合いの心

【発　行】福岡県退職公務員連盟　会長：吉田　筑三
事務局長：稲田　瑞穂　〒808-0001 北九州市若松区小石本村町 2-60
TEL／FAX：093-761-4697
【編集･制作】株式会社ニチコミ　福岡市博多区博多駅東 1-13-6 竹山博多ビル 7F　TEL：092-292-6538

福岡県退職公務員連盟
会長　吉田　筑三

超高齢社会に生きる

これからの超高齢社会をどのように生きていくかを考えると、人との触れ合いを大切にして生きていくことではないかと思います。

退職後の生活を支えてくれるのは年金です。退職公務員連盟が目指しているのは、誰もが安心できる年金制度の確立です。

先輩たちは、60余年にわたり全国の退公連のみなさんと連携して、年金制度の充実に力を注いでこられました。

退職公務員連盟には全国で約30万の会員がいます。元公務員の様々な職種の人たちが集まった連盟です。年金をはじめ社会保障制度について、政府・国会議員等に折衝している組織です。これからも、退公連の一員として、組織と目指す理念と行動で、よりよい高齢社会になればと考えています。

評議員会・三部長会開催

27年度の運営方針が決定

3月20日（金）、評議員会、4月14日（火）、三部長会が福岡天神センタービルにて開催されました。

評議員会では、27年度の方針や事業計画などを決めました。また、参加者からも活発な意見交換が交わされました。

評議員会

三部長会

【27年度運営方針】

①誰もが安心できる社会保障制度を確立する

②退公連の一員として相互理解を深める

③地域の活動に参加する意識を高める

④各支部は、積極的に各事業を推進し、組織の拡大と活性化に取り組む。

平成27年度第二ブロック支部長会

2月20日（金）、飯塚市「のがみプレジデントホテル」で開催しました。県本部より吉田会長、稲田事務局長のご出席をいただき、会は盛り上がりました。様々な情報を共有でき幸せな支部長会議となりました。

直方支部女性部

意欲的・創造的な活動を目指して

女性部長　日高　幸子

退公連直方支部の全会員は161名で、そのうち女性の会員は、81名と半数を占めています。役員3名、班長（主に退公連の新聞配り）6名と女性の活動はこれらの方々に支えられています。

支部の役員会は年に6回「直方歳時館」にて開催され、研修や総会に向けての議案作り、情報交換など和気あいあいの雰囲気です。毎回、話題になるのは会員数をいかに増やしていくかという切実な問題です。できるだけ女性会員同士の声かけを積極的に行い、入会を勧めるようにしています。

会員の高齢化が進み、新聞の手配りも大変になってきました。若い退職者に声をかけ、会員の増員を図るとともに平成27年度の女性部のテーマ「意欲的・創造的に活動し退公連の真価を発揮しよう」に一歩でも近づけるよう努力を重ねていきたいと思います。

新支部長紹介

東区支部長　中嶋　英機

思いがけないかたちで支部長を引き受けることになり、正直戸惑っております。

志半ばで亡くなられた、前支部長、事務局長様の業績を、新役員協力して引き継ぎ発展させて行きたいと思います。よろしくお願いいたします。

早良区支部長　石橋　正隆

会員の高齢化と新規加入者減の現実の中で、県連の指針に沿って活動していく。中でも、絆によって生まれる力を重んじ、さらなる会員同志の絆を深める仕組みづくりを大切にしたい。

西区支部長　松元　憲治

本支部も会員の高齢化と減少で、新会員の加入促進と若返りが近々の課題です。少ない事務局員ですが、積極的に活動してくれますので、現在のところ順調に運営できています。全会員の協力を得て、組織の活性化を図りたいと考えています。

遠賀中間支部長　中葉　允雄

遠賀中間支部は岡垣分会のみで活動しています。「退職したら先生たちとの交流がなくなり寂しさを感じていたけど、この会への誘いの声があって嬉しい」新加入の方の言葉です。これからも仲間との交流は永く続けていくつもりです。

柳川みやま支部長　柴田　順一郎

任期中途で支部長が病気療養のために業務遂行困難ということで支部長代行の依頼を受け、引き継ぐことになりました。仲間を大事にし、友愛の精神をもって頑張りたいと思います。

趣味は、野菜づくりと庭木の手入れです。

三潴大川支部長　吉原　満生

久しぶりに組織団体の役員となり、意気込みとは言えないが、組織名簿を見て感じたことを言えば、この連盟は教職員出身者がほとんどで、多種公務員の参加を促し、組織拡充を図っていけば、組織力はより強化されると思う。

小倉支部長　岩谷　武利

【ピンチをバネに!】小倉支部も会員減に悩まされている。高齢化とともに、退職者が入会したがらず、会員が減少している。会員の増加と退会防止に力を入れているが進まない。支部にとってはこのピンチをバネに頑張らねば。

田川郡支部長　徳久　公博

田川郡支部では永年にわたりご活躍された前白石会長が勇退され、その後の大役を任せられました。これまで活躍されご功績を残された先輩の方々に恥じないよう会の振興、充実発展のために力を注いで行く覚悟です。

行橋京都支部長　斉藤　正幸

自然の恵みに感謝し体調に目配りしながら野良の仕事に精進する日々です。会報配布で先輩の家を訪ねますと懐しく歓迎され気持ちが和みます。現職時のように緊張は長続きしませんが、自分ができる事に励み、いくらかでも世の役に立てばとの思いです。

豊前築上支部長　松本　渡支雄

この度、前支部長の健康状態を考慮の上、任務の重大さを覚悟し支部長を拝名致しました。支部長の本務として、会員相互の絆を深めることも大切です。諸々の課題のある中、当支部の組織拡充に努め、実情に応じた活動を目指します。

新女性部長紹介

東区支部　女性部長　栗﨑　イツ子

任期中の女性部長の急逝による任務の重さを感じています。趣味の太極拳で健康増進に努め、会員の方々の生きがいづくりに何か役に立てればと願っています。

遠賀中間支部　女性部長　神谷　ケイ子

急きょ、前部長の後を引き継ぐことになり、戸惑いを感じています。同世代4人でスクラムを組み、会の発展に貢献できればと考えています。

新事務局長紹介

東区支部　事務局長　濱野　政人

東区支部は、役員の思いがけぬ不幸が続き、急きょ私が引き受けることとなりました。他の役員の皆様の多大なる支援をいただきながらやっている状況です。

西区支部　事務局長　成清　光任

事務局長として最大の努力を惜しまず、会員の相互理解と信頼を深めながら「入っていて良かった」と言っていただく支部にしていきたい。

戸畑支部　事務局長　玉浦　孝一

この度、戸畑支部の事務局長に就任しました。若輩者ですがご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。私は「元気で明るく」をモットーに日々ウォーキング等の運動を続けています。これを糧に楽しい戸畑支部を目指したいです。

若松支部　事務局長　高田　利弘

偉そうに「至誠報徳」などとは申しませんが、両親がお世話になった当連盟へ御恩を返すのは、今でしかできない気がしています。よろしくお願いします。

小倉支部　事務局長　白石　新治

支部長や他役員との和をもって任務を遂行し、役員相互の絆を深めていきたい。また、管理職以外の1名以上の会員獲得を目指したい。

田川郡支部　事務局長　山本　克記

退公連の先輩方にはお世話になります。今回は微力ですが、この役を全うしたいと思っています。どうぞよろしくご指導ください。

◎遠賀中間支部　事務局長　平野　裕子

新しく事務局長に就任いたしました。力不足な面もあるかと思いますが、頑張ります。よろしくお願いいたします。

◎三潴大川支部　事務局長　本村　勝正

初めて事務局長になります。不慣れではありますが、精一杯がんばりたいと思います。よろしくお願いいたします。

新組織部長紹介

朝倉支部　組織部長　服部　裕之

自分たちの年金は我々自身で守る気概が必要だ。そのために頑張ろう。

三潴大川支部　女性部長　中村　イソ子

未加入者に退公連の重要性を啓発し、会員増強の取り組みを女性部あげて行いたいと思います。「数は力なり」を肝に銘じつつ。

小郡三井支部　女性部長　藤井　富美香

力不足ですが、県の研修会等で学びながら、頑張ってまいります。どうぞよろしくお願い致します。

◎八幡支部　女性部長　甲斐　倶子

皆さんの後押しにより、女性部長になりました。ご指導のほどよろしくお願いいたします。

八幡支部　組織部長　久松　久雄

年金は自分たちで守り、退公連のみなさんと一緒にがんばりましょう。

◎東区支部　組織部長　田中　聡美

組織部長になりましたが、体調を崩しております。早く回復したいと願います。

支部の現状と活動

筑紫北支部　支部長　北嶋　司朗

筑紫北支部の会員は68名、役員14名で活動しています。かつては3分会あったのに、現在は1分会です。

物故者や退会者の数よりも加入する新会員の人数が少ないために、会員数が少しずつ減ってきています。退公連への加入者が少ない理由の一つに、退職した後も、現職の時のグループに、そのまま仲間として継続していることにもあるようです。問題は他にもいろいろありますが「退公連は退職後の自分の生活を守るための要望団体である」ということを、私たち自身がもっと自覚しなければと反省しています。

北支部の1年間の活動は、総会・研修会・懇親会・旅行が主なものです。

総会では、敬老表彰や結婚50周年を迎えられた会員を表彰しています。総会に続いて行う研修会は、自分たちに一番身近な年金の問題・税の問題・遺言の書き方等を、講師を招いて学習してきました。そろそろ固くなってきた頭や体をやわらかくしようと、落語や運動を取り入れた健康面の研修も行いました。研修終了後は全員で懇親会を行っています。

秋には一泊旅行を実施しています。昨年は熊本に行って温泉とグラウンド・ゴルフを楽しみました。2日目は史跡・田原坂を訪ね、帰りにワイン工場に寄って、たっぷりと試飲してきました。

戸畑支部の活動

戸畑支部　支部長　草木　正人

●活動の基本方針

すべての会員（社会）が
豊かに生きがいのある生活を―
・お互いに支えあい・助け合う
・笑顔が生まれる活動
・年金を確実なものに
・会員をみんなで増やそう
・心身の健康を維持し社会参加を

年々高齢化が進む会員。若い会員の入会が少ない現在、いかに活動するか？

●定期総会・懇親会

また会えたね、来年もまた…と声をかけ合い、楽しい集いを求めて参加した会員。心のふれあいと絆をしっかりと感じた。

●敬老表彰をつたえる会

喜寿・米寿の会員を招いて、お祝いと楽しく語り合う会を開催。懐かしい会員との語り合うひと時もまた楽しい。

●親睦会（日帰り旅行）

女性部が中心となり、近い場所を選んでバスで行く小旅行。笑顔、笑顔、本当に打ち解けて楽しく過ごせる集いの場。帰りの顔は喜びと生きがいに満たされた感じ。明日の生きる力を育んだ親睦会。

●新会員を

組織部が中心となって、会議を重ねながら一人ひとりがお誘いを。

以上、戸畑支部はささやかな活動を力を合わせながら行っている。安全に安心して暮らせる社会を夢見て。

いつまでも学びと楽しみを

東区支部女性部　女性部長　栗崎　イツ子

東区支部女性部の活動内容は、主には研修活動の企画・運営です。

1年に1回、気候の良い10月・11月頃に、郷土の自然、歴史、文化施設全般について見学し、東区支部会員講師の講話により研修を重ねてきました。かつて女性会員のみの研修でしたが、男性会員もともに…という双方の願いから、女性部でお世話をし、全体で研修をするという現在のスタイルになったのは15年前のことになります。

当初資金面の悩みもあり、無料の「市内の公共施設を知ろう」をモットーに、現地集合で行うという状況の中、女性部役員の工夫により少しずつ研修は充実してきました。徐々に支部会計からの活動費補助も安定するようになり、お弁当を囲んだり講師に謝礼を出したりと、態勢も整ってきました。

5年ほど前から、マイクロバスの支援を受けて研修の行動範囲および内容を大幅に広げることができ、近年は芦屋釜の里、国立博物館バックヤード見学と太宰府の歴史散歩、時流に合わせた「黒田官兵衛」ゆかりの福岡城跡、「花子とアン」の旧伊藤伝衛門邸、世界記憶遺産「山本作兵衛炭坑画」を語る石炭・歴史博物館等を見学してきました。食事代を個人負担にすることで、研修後は近隣のレストラン等で会食をし、歌や踊りが出ることもあって交流が深まるとともに絆も強まり、生きがいを共有できる大切な場となっています。

会員の何歳になっても衰えない興味・関心・学びの意欲を充足させるとともに、健康面にも大いに刺激を与え、心身ともに充実した研修になっています。

絆が深まる活動への思い

博多支部女性部　女性部長　丸山　美恵子

6年前に女性部長の立場になり、初めて支部の会合や研修会に参加したり、新聞の宅配等を通して、組織の継続や活動の強化に対して、先輩や仲間の皆様が、心血を注いでの苦闘の歴史が理解でき、ただただ感謝の念で頭の下がる思いでございました。

特に研修会の講話に接する度に、使命感溢れる会長様の姿に接し、組織活動の重要性を痛感させられました。

さて、女性部長の役をお受けした責任として、実践できる活動を考えてみましたが、女性会員18名のほとんどが80歳以上で、定期的な行動活動は無理と分かり、継続活動ができる内容を考え出したのが、敬老該当者への手作り記念品を作成することでした。毎年、敬老者該当班長さんが、自宅訪問され、届けて頂いております。大変喜んで下さり、意欲が湧きます。

写真でお分かりいただけると思いますが、毎年思い出の写真が貼り続けられるコーナーを工夫し、1枚でも多く重ねていただくよう、健康で自分らしく長生きして下さることを心より願っております。

その他の活動として、依頼があればボランティア活動として、公民館主催の高齢者教室、幼稚園、保育園、デイケアセンター等のお楽しみ会に出かけております。地区の会員さんの応援参加があり、嬉しい限りです。

出し物は、マジックや南京玉すだれ等いろいろです。

手作り記念作品